

ニュースフラッシュ NEWS FLASH

ものづくり補助金の採択結果を公表

全国中央会

全国中小企業団体中央会は8月7日、「ものづくり中小企業製品開発等支援事業補助金」の採択結果を公表した。

同補助金は、ものづくり中小企業の技術力向上を図ることで国際競争力を強化するのが目的で、①試作開発等支援事業（ものづくり中小企業の試作品開発から販路開拓等への支援）と②製品実証等支援事業（ものづくり中小企業の製品実証等への支援）の2つの事業が対象。各都道府県中央会が応募申請窓口になっている。

今回公表したのは、6月12日から同24日までの第一次公募申請分で、全国で試作開発等支援事業1,655件（応募総数7,387件）、製品実証等支援事業440件（応募総数479件）が採択された。本県の採択件数は前記事業が19件、後記事業が7件であった。

いばらき自然資源活用LLPを対象に研修会

中央会

中央会では地域力連携拠点事業（経済産業省委託事業）のひとつとして、いばらき自然資源活用有限責任事業組合を対象に研修会を銚田市内で開いた。

当組合は今年6月、都市農山漁村交流や農村景観の保全などに関心を持つ事業者8名が協働し、耕作放棄地の解消方策や耕作放棄地を活用した地域の活性化策を検討するとともに、都市住民との交流の実践を通し耕作放棄地を解消し、地域の活性化につな

げようと設立された。現在、農村に受け継がれてきた古民家再生による田舎暮らし支援、耕作放棄地を活用した耕作・収穫体験、耕作放棄地の解消に向けた牛の放牧、里山・平地林を活用した木炭・竹炭などの伝統的製法の保全、環境対応の一環として太陽光発電の利活用推進等に取り組んでいる。

研修会では「LLPの会計と税務」と題し、LLPの特徴であるパススルー課税に伴う組合員の経理・税務上の諸手続などについて、増山会計事務所の増山英和税理士らが講演した。

モデル店創出・波及事業を実施

県商店街振興組合

茨城県商店街振興組合連合会（金澤克憲理事長）は昨年度に引き続き「モデル店創出・波及事業」に取り組んでいる。同事業は、専門家が個店を訪問し、診断・指導することで個店の活性化を図るのが目的。

今年度は、モデル店として、水戸市のトビタ時計店、やきたてMOGU-MOGUのおかしやさん（本町一丁目二丁目商店街振興組合）の2店舗で、中小企業診断士から定期巡回や通信による診断・指導で店舗の磨きこみを行っている。

同事業は、個店の経営指導にとどまらず、モデル店と周辺の店舗経営者による参加店会議を開催し、店主の意識改革とモデル店の取り組みを広く波及させることで、商店街全体の活性化につなげるのが大きな狙い。

JTB For Your Travel & Life
世界をつなぐ旅と心

☎029(225)5233 JTB関東 法人営業水戸支店

〒310-0803 茨城県水戸市城南1-1-6 サザン水戸ビル2階
FAX. 029(226)4017

営業時間 月～金曜/9:30～17:30（土曜・日曜・祝祭日休業）

総合旅行業務取扱管理者 市川友英
（株）JTB関東（社）日本旅行業協会正会員
国土交通大臣登録旅行業第1578号

